

令和4年度 第1回たつの市行財政改革推進委員会

－ 会議録 －

日 時：令和4年7月6日（水）午前10時～午後0時10分

場 所：たつの市役所新館4階災害対策本部兼大会議室

出席者：委員12名、事務局

傍聴者：なし

1 会議内容

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 市長あいさつ
- (3) 委員・事務局紹介
- (4) たつの市行財政改革推進委員会について
- (5) 会長及び副会長の互選について
- (6) 議事
 - ①行政改革の取組と現状について
 - ②行政改革推進実施計画の具体的取組項目について
 - ③市民提案に対する対応方針について

【協議事項①】

行政改革の取組と現状について（P3～8）

事務局より、取組状況等の説明を行い、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。

委員	<p>現在、市では多くの事業を実施されていますが、まず、市役所が綺麗で使いやすく整備され、素晴らしい施設になったと思います。</p> <p>先日も市役所に所用で来庁しましたが、廊下を歩いていた市役所職員が担当部署まで案内してくれました。どの階（フロア）に行っても、職員が見渡せるようになり、市民が廊下を歩いても職員が注目してくれて、迅速、丁寧に対応していただいている。この対応が、今のたつの市を表していると感じています。</p> <p>また、ワクチン接種などの新型コロナ対応については、防災行政無線等も使用しながら、他自治体よりも素早く対応できており、一市民として有難く感じています。</p> <p>市役所は市のシンボルでもあり、一度来庁して、職員の笑顔が見てみたい、市民が来庁したいと思ってもらえることが行政サービスのスタートだと思います。</p>
委員	<p>財政状況については、県内比較をしても苦しい状況ではなく、健全運営に努めていただいているところで、職員数についても、職員定員適正化計画において令和4年4月1日の予定職員数551名に対し、539名と△12名で行政運営されています。</p> <p>職員構成を年齢別で見ると、30歳以下の若年層が少ない状況で、職員数は合併当時の約900名体制から539名となりましたが、現在の業務は非常に複雑多岐に渡っています。</p> <p>また、通常業務に加え、2年以上に渡り、新型コロナ対策業務を行っていただ</p>

	<p>いていますが、今の職員数は県内においても非常に少ない人数で行政運営していただいて、各職員が能力を十分に発揮していただいているのは理解していますが、最近市役所を良く覗いても、挨拶をしていただけないくらい忙しく、ずっと下を向いたまま仕事に取り組んでいる印象を受けます。人と人との繋がりも大切だと思しますので、ある程度は精神的に余裕を持った形で、職員分布図で言うと逆ピラミッド型の職員構成をピラミッド型に近づけられるよう、職員定員適正化計画において、職員数に余裕があるのであれば、若い方の職員採用を検討いただければと思います。</p>
委員	職員分布図において、20歳以下が2名というのはどういうことですか。
事務局	技術職については、高卒以上を募集要件としており、その2名となります。
	<p>【協議事項②】 行政改革推進実施計画の具体的取組項目について（P9～26）</p> <p>【協議事項③】 市民提案に対する対応方針について（当日配布資料）</p>
	事務局より、行政改革推進実施計画の取組状況及び市民提案に対する対応方針を説明し、意見交換を実施。主な意見等の要旨は次のとおり。
委員	<p>中小企業の経営でもよく問題になるのが、いかに業務効率を上げるかということです。</p> <p>資料P13「5時代に即した電子自治体の推進」について、先ほども職員数が減っているという話がありましたが、それに対して仕事量は減らず、業務効率化を進めるため、デジタル化を推進していこうとされていると思います。</p> <p>その上で3点、まず、ハード面で言うと、パソコンのモニターを2つ、3つに増設してはどうかと思います。デジタル化が進むにつれて、パソコンでの作業が増えると思いますので、モニターを増設することで業務効率化につながると思います。この取組は、中小企業経営において効率化した実績がありますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>次に、行財政改革推進実施計画P6において、RPAを活用した業務改善が記載されています。RPAの運用において、たつの市が最初からプログラムを構築しようとする、時間・お金が多くかかり非効率なので、他団体が開発しているプログラムを横連携により使用するなどして、効率良く導入すべきだと思います。</p> <p>最後に、最近、尼崎市で情報漏洩の事案が発生しましたが、デジタル化が進んでいくと、情報漏洩や不正アクセスのリスクが増えますので、職員の意識向上が重要になります。研修等を通じて職員の教育にも取り組んでいくべきだと思います。</p> <p>また、資料P24「18自主財源の確保」について、企業版ふるさと納税の令和3年度実績（3,500千円）が令和2年度実績（5,100千円）と比較し、減少していますが、令和2年度の税制改正で企業に対する税制優遇が良くなっています。</p> <p>ただし、企業側がこのことを知らないケースが多いと思います。市内に本社がある企業は対象外ですが、例えば、たつの市にゆかりのある市外の企業にPRし</p>

	<p>たりすることは有効だと思います。4月に企業版ふるさと納税を活用して小学生に入学祝品をプレゼントされている新聞記事を拝見し、情報発信されていたので、このような取り組みを強化することが寄附額増につながるとと思います。</p>
事務局	<p>デジタル化についてですが、今年度から組織改編し、デジタル戦略推進課を新たに設けました。そして、民間企業でデジタルに精通した方を外部人材として2名招へいし、その方を中心に本市のデジタル化を推進しているところです。</p> <p>「行かなくてもよい市役所」を目指す中で、本市の職員採用試験の募集において、今まで紙の応募申込書を必須としていましたが、今年度からオンラインの応募も可としたところ、76名の応募のうち72名がオンラインでの申込という効果がありました。</p> <p>また、ご意見のとおり、職員数は減少の中、業務量は変わらない状況があり、デジタル化を進める中での過渡期となっています。</p> <p>今後の事務について、契約事務では、契約書は紙で作成し、取り交わしていましたが、地方自治法の改正により、押印が不要になりましたので、電子契約が行えるよう手続きを進めています。</p> <p>企業版ふるさと納税についてですが、令和2年度から損金算入を含め、6割控除から9割控除に改正されました。御意見のとおり、このことを企業側が知らないケースがあると思います。本市においては、市長が企業側にトップセールスを行っており、見込がある企業様にPRさせていただいているところです。</p> <p>加えて、今年度から企業版ふるさと納税マッチング事業者4社と成果型報酬の委託契約を締結しており、新たな企業の獲得に向け取り組んでいます。</p> <p>現在課題だと考えていることは、本市の地方創生プロジェクトに対し、企業様が賛同した場合、寄附を行う仕組みとなっていますが、本市のプロジェクトは子育て支援プロジェクトしかない状況です。本市の魅力発信のため、新たなプロジェクト作りに取り組んでいるところです。</p>
事務局	<p>デジタル化については、気難しく考えるだけでなく、「書かない窓口」を目指すため、例えば、死亡届のために来庁した場合、多くの手続きが必要となりますが、書類を1つだけ記載し、他の書類に使用し、市民の利便性が向上する取組を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、先ほどの意見にもありましたが、職員数が減少する中で、職員は対面での業務に注力できるよう、入力などの作業の部分をデジタル化するという前提の中で進めています。</p> <p>企業版ふるさと納税については、情報発信が重要になってきます。寄附していただいた企業の中には、「子育て」というキーワードを検索して、本市を選んでいただいた企業もいらっしゃいます。本市の取組を発信することで、賛同が得られる場合もあるので、発信することが重要だと感じています。</p>
事務局	<p>モニターの件ですが、庁内でも意見が挙がっており、今後予算要求の中で検討していきます。</p>
委員	<p>資料P18の「9市民病院機構の健全運営」について、令和2年度から非公務員型の地方独立行政法人に移行させたことは、現市長の英断だったと思います。平成30年度に市民病院の経営形態検討委員会を立ち上げられ、公務員から非公</p>

	<p>務員へ移行するという決断をされ、職員は不安を感じられたと思います。その中で、市と病院側で協議され、半年間で決定されたことは、素晴らしいことだと思います。</p> <p>資料P18に経営状況が記載されていますが、令和2年度の医業収支比率は97.5%、令和3年度は97.3%となっていますが、平成28年度は72.3%で20%以上上がっています。</p> <p>この比率は、病院経営において重要な指標であり、目安となるものです。阪神間を含めた兵庫県内の医業収支比率については、平均90%前後で、たつの市民病院機構が97%まで引き上げられたことは、職員の皆さんの努力だと思います。</p> <p>また、この比率が上がったということは、市の繰出の原資となる税金の流出が減ったということの意味しており、今まで赤字補填を含め、毎年5～6億円を繰出していました。加えて、一時借入金として3～4億円を借り入れし、経営していました。このことが解消されたことが一番の行政改革だと思います。このことにより、市の庁舎も新しくなり、職員の対応も良くなり、気質も変化したのではないかと思います。</p> <p>今後市民病院の健全経営のために、はりま姫路総合医療センター（736床）との連携方法や赤字である介護老人保健事業のあり方について、検討いただければ、より市民の方が使いやすい施設になると思います。</p>
事務局	<p>病院運営について、設置者は市長となり、組織の統制（ガバナンス）自体は残ったままで、経営面については、理事長に任せています。地方独立行政法人に移行したことで、病院業務を決めている定款などについては、議決が必要ですが、予算や職員定数を増やすことなどについては議決が不要となり、病院独自で決められるようにして、設置者（市長）のマネジメントの中で、小回りの利く経営形態にしたことが一番大きな変化です。</p> <p>その上で、地方独立行政法人移行直後からコロナ禍に見舞われた中で、その対応に奮闘した結果が、良い結果を生んだのかなと思っています。</p> <p>市民病院の位置付けについては、高度医療を積極的に行うのではなく、回復期や地域包括ケアといった部分を担う中で、地域医療に貢献していきたいと考えています。その中で、地域連携室を新設し、他の病院との連携を強化し、健全経営に努めているところです。</p>
委員	<p>コロナ禍の中で、このような良い業績を挙げられていることは、病院職員が努力された結果だと思います。また、ワクチン接種についても、理事長の判断で、迅速な対応をしていただき、地方独立行政法人になって良かったと感じています。</p>
委員	<p>資料P10の「2 戦略的広報の推進」のSNSを活用した市政情報の発信について、私はSNSを通じて市政情報を収集できて有益と感じていますが、情報の受け手側が市政情報まで辿り着かない場合も多くあると感じており、発信のみならず、インターネットの使い方など、市民への教育、例えば、高齢者教室や公民館での講義を実施したり、また、学校の授業で市政情報を収集してはどうかと思います。</p>

	<p>また、収集した情報のシェアも実践すると、情報発信されたり、興味関心が増すと感じています。</p> <p>次に、資料P23の「16 扶助費・給付金等の見直し」の敬老事業の見直しについて、75歳以上の方は約14,500人いますが、サービスを受けて嬉しい方とそうでない方がいらっしゃると思いますし、高齢者タクシー事業の場合であれば、使用せずに期限切れを迎えてしまう方もいると聞いており、市としては支出がないことは良いかもしれないが、市民側からすると得られたものを使用しないのはもったいないなと思います。</p> <p>敬老えらべるギフト事業についても、高齢になればなるほど、送られたカタログを放置してしまうのではないかと思うので、その辺りがケアできれば良い事業になるのではないかと思います。</p> <p>別件にはなりますが、近年、国の省庁が新しく出来て、大きな額の補助金が創設された年があり、市民団体がその補助金を申請しようとした時に、行政との連携が必要と言われたことがありました。</p> <p>たつの市の組織において、国の業務に対応・連携していなくて、補助金を取り損ねたケースが何回もあり、せっかくプレーヤーがいるのに残念に感じましたので、国の方針と市の窓口がつながるような取組を検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>まず、SNSの活用について、最近、児童生徒に対し、1人1台端末を整備し、家庭でも使用できる体制を整えたところで、今後教育においても積極的に活用していくこととしています。行政については、太子町などでLINEを使用した情報発信をされていると思いますが、本市では活用していませんので、今後検討していく必要があると考えています。</p> <p>また、情報の受け手側の教育についてですが、国の支援を受けて、来月からスマートフォン、アプリの使い方講習を各公民館で実施する予定ですので、広く周知していきたいと考えています。</p> <p>縦割り行政の件ですが、内部においても同様のことが生じており、一部の職員しか知らないということがあります。国の動向を受け、新しい取組をする場合は、ワーキング部会を立ち上げるようにしており、関係部署を呼んで、情報共有し、所管課で対応できることを検討するようにしています。このことが市民に浸透していないことは今後の課題だと感じています。</p>
事務局	<p>敬老えらべるギフト事業については、コロナ禍を踏まえ、今年度から実施する事業になり、担当課も多くの地場産品を用意しているところで、結果を見て評価していきたいと思います。</p> <p>高齢者タクシー券については、多くの方が使用されている一方で、もしもの時に取っておられる方もいらっしゃると思いますので、他の事業も含め、利用率等を検証していきたいと思います。</p>
委員	<p>デジタル化の推進について、最近で言えば、尼崎市のUSB問題が挙げられますが、たつの市で言えば、ホームページのサーバーダウンの問題が挙げられます。比較的安価な事業者と契約されていたと思われそうですが、近隣市町がサーバーダウンしていない中、たつの市だけがサーバーダウンしてしまいました。</p> <p>たつの市の受け止めとしては、思った以上に苦情の問い合わせが少なくほっと</p>

	<p>したニュアンスを感じたので、広報担当課には、ホームページが繋がらないことで舌打ちをし、がっかりしている市民がたくさんいるということを伝えました。市はサイレントマジョリティーのことを考えて事務を行っていかないと、デジタル化の推進はできないと思います。</p> <p>情報発信のメインであるホームページが使えない状況であれば、フェイスブックやインスタグラムで緊急発信する発想が出てこなかったのが現状だと思いますので、外部人材のデジタル監の知恵も借りながらデジタル化を進めていただければと思います。</p> <p>また、尼崎市のような問題が起こらないようにすることも大切で、記者会見でパスワードの桁数を公表してしまうような、ミスの上にミスを重ねるようなことがないように進めてください。</p>
事務局	<p>ホームページのサーバーダウンの件について、現在、市役所の中にデータを保存するサーバーはなく、外部にサーバーがありますが、場所は攻撃の対象とならないよう、非公表になっているようです。サーバーダウンが生じた時は、東北で地震が起こったときでした。本市においては、当時サーバーが1台しかない状況で、御指摘を受け、冗長化することとしました。</p> <p>また、全国的な流れとして、経産省においてもデータセンターの新規拠点整備を進める動きも出ていますので、市も注視しながら、今後も安定的に情報発信できるよう努めていきます。</p> <p>今年度から外部人材として2名のデジタルに長けた人材を雇用して、デジタル化を進めていますが、職員についても、デジタルツールを使いこなせないといけませんので、人材育成も行っていきたいと考えています。</p> <p>また、市民の皆様が、行政サービスのデジタル化が必要であるという意識を感じていただけるような取組やスマートフォンの普及率も80%以上となっている状況の中で、スマートフォンを利用した行政サービスも必要と感じています。</p> <p>本市のマイナンバー普及率について、全国平均は上回っていますが、県平均は下回っている状況で、今後ますますマイナンバーカードを使った行政サービスが増えてくると思いますので、更なる取得率向上に向け取り組んでいきたいと思っております。</p>
委員	<p>デジタル発信について、高齢者に対する教室は基本的には良いと思いますが、学校の場合だとネットいじめの心配があるので、情報リテラシー教育に力を入れていますが、大人に対しては言いにくい部分がありますので、中高年を中心にヘイトスピーチのような内容も散見されます。</p> <p>今後行政が教室を開いて講義し、その方たちが誤った考えを発信した場合、目も当てられないこととなります。人権を大切にしているたつの市なので、人権意識についても伝えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>まず、資料P10「2戦略的広報の推進」のSNSを活用した市政情報の発信について、ツイッター上にアカウント名「たつの市情報 bot」が登録されており、たつの市の情報を自動発信し、市ホームページにリンクさせるようなツイートをしています。ハッシュタグが「兵庫県」、「たつの市」、「たつの市役所」だけしかありません。</p>

	<p>もう少し関連するハッシュタグをつけて発信することで、より多くの方に情報発信できるのではないかと思います。</p> <p>次に、資料P13「5時代に即した電子自治体の推進」について、シースルーキャプションズ（ろう・難聴者（聴覚障害者）とのコミュニケーションのためのリアルタイム字幕を表示する透明ディスプレイ）というものがあります。コロナ禍を背景にマスク着用が必要とされる社会において、これが、市役所の窓口であれば、様々な方とのコミュニケーションが取りやすいのではないかと思います。</p> <p>最後に、資料P22「14公共施設の適正管理」について、動物園の北側のグラウンドは、どのような用途で使われていることが多いですか。もう少し有効に使用できればと思います。</p>
事務局	<p>本市では、現在フェイスブックとインスタグラムにおいて、市政情報を発信しており、ツイッターは利用していません。「たつの市情報 bot」については、民間の方が、自動で情報発信しているものになります。</p> <p>ハッシュタグの付け方については、効果的に付けることで発信力が異なり、事業の見られ方も変わりますので、工夫が必要だと感じています。</p>
事務局	<p>シースルーキャプションズについては、担当課へ情報提供し、検討していきます。現状は、今年度から手話通訳士を採用し、窓口対応しており、また、社会福祉協議会とも連携し、手話研修や手話通訳の派遣調整などを行っています。</p> <p>また、動物園の北側のグラウンドについては、都市計画課（公園所管課）で申し込むことができます。</p>
委員	グラウンドの使用については有料、無料のどちらでしょうか。
事務局	公園用地になっており、原則有料で、減免申請もできます。さくら祭りの時には、臨時駐車場として利用されています。
委員	さくら祭り開催時の駐車場については、無料となるようですが、御津の梅まつりは駐車場料金が徴収されています。
委員	さくら祭りと梅まつりを同じように考えていく必要があると思います。
委員	御津は観梅期が有料で、観梅期以外が無料です。観梅期は、今でさえ結構な集客があり、無料にするとパンクすると思います。
委員	<p>さくら祭りについては、この期間のみ臨時的に公園グラウンドを開放し、駐車場利用していますが、これも無料にして、桜の保全のための費用も市が出すのはどうかと思います。</p> <p>例えば、駐車料金を徴取して、そのお金を桜の保全のための費用に充てるということであれば理解できますが、両方とも市が負担するというのは如何なものかと思います。</p> <p>経済効果のこともありますが、桜を見るために500円を支払うのではなく、桜の保全のために支払うという意識を持ってもらえるようにすれば、駐車料金の有料化は納得すると思います。考え方の整理が必要だと思います。</p>
事務局	さくら祭りについては、市外の方にも多く来訪していただいております。観光客を呼び込む目的は、たつの市を知っていただくことや経済効果をもたらすことだと思います。本市の観光客は、コロナ前では200万人以上であったのが、半減しています。今後、何らかの仕掛けをしていく中で、観光客を戻したいというのが

	<p>趣旨の一つです。</p> <p>コロナ前の情報ですが、外国人が8人観光に来れば、定住人口1人分の年間消費額に相当するといったデータもあり、楽しく観光するというだけではなく、経済効果も踏まえた上で情報発信していく必要があると考えています。</p> <p>桜のオーナー制度については、例えば桜に寄附者のネームプレートを付け、自分が桜を持っているということで、本市と心のつながりを持っていただき、何度も本市を来訪してもらう機会を作ろうということでの提案です。</p>
委員	<p>さくら祭りで駐車料金を徴取するのは当たり前だと思います。他団体の観光地に行ったときに、必ず500円から1,000円の駐車料金を徴収しています。</p> <p>たつの市では、駐車料金としてではなく、桜を保全するために500円を徴収するというのであれば、すごく賛成します。</p> <p>また、常設の観光駐車場は300円を徴収していますが、これを無料にする方が経済効果はあると思います。</p> <p>平日に来訪する観光客については、たつの市に魅力を感じている方で、大切にすべきと考えています。</p> <p>知人にたつの市のことを聞かれても、私自身がたつの市に魅力を感じていないので、答えようがありません。愛知県のジブリパークであれば、皆さんが行ってみたいと感じていると思います。たつの市にも行きたいと思ってもらえるものを作らないと、これからのたつの市の観光はどうなっていくのだろうかとすごく心配です。</p> <p>昔、市職員と話をしたときに、国が日本全体の人口が半減するという試算を出したとき、たつの市は8万人を6万人台に保っておきたいとの考えでしたが、地方であるほど、人口は減少するので、国全体が半減であれば、たつの市では3割くらいになると思っています。</p> <p>たつの市では、働く場所がないので、人口は減少し、出生数もそれほど多くないので、増加もしないため、たつの市はなくなってしまうのかなと思っています。日本という国がなくなるのではないかと思います。</p> <p>今後、たつの市が魅力ある発信をしていかないと、姫路市と合併されるのではないかと思いますので、土地利用についても、活用されていない土地がたくさんありますので、考えていかないと先細りになるだけだと思います。</p> <p>今回の市民提案の件については、決定事項であれば聞くだけにはなりますが、私は反対です。</p> <p>イベントがあれば、料金徴収は問題ないと思いますし、様々なことをするための財源としてならば良いと思います。</p> <p>常設の観光駐車場を無料にする方が良いと思います。有料にすることで、平日に来訪する観光客は減っていると思います。電車を使って歩けば良いだけの話ですが、本竜野駅から歩く場合、結構時間がかかります。シャトルバスを出して、電車を使ってもらうことも考えていく必要があると思います。電車が減便になり、公共交通がなくなると、まちの衰退につながるのと考えていかないとイケません。</p> <p>駐車料金を無料にすることも大事ですが、来年皆さんが見る桜のために使うと</p>

	<p>する御意見をいただき、次回の会議で対応方針や取組状況を報告することとしています。</p> <p>指定管理者制度については、8月に行政改革の一環として指定管理者審査委員会を開催し、委員の皆様にご意見を聴取していますが、現在の27施設のうち、大半は非公募で地元等の団体に依頼している状況です。</p> <p>指定管理者制度は民間活力により、施設を盛り上げていこうとする制度です。また、行政改革の観点で言うと、指定管理者審査委員会を設けて、少ない経費で適正な運営が出来ているかを確認・改善しています。</p> <p>龍野保育所の跡地については、現状駐車場利用していますが、今後の利活用の詳細は伺っておりません。今後、人口減少の中で、こども園化により統合した際に、廃園となった保育所が市街化調整区域の場合が多くあるため、利活用に苦慮しています。利活用する場合も、都市計画法の県の許可基準のハードルが高い状況です。</p> <p>新宮地域でいうと、今年度から過疎地域に指定され、人口減少が進んでいる地域になっていますが、公共施設の跡地はインフラ施設が整っている場所なので、利活用しやすい場所であるため、今後県との協議においても利活用が進むような協議を行っていきたいと思います。</p>
事務局	<p>たつの未来基金の活用については、新宮地域の企業経営者からの寄附を原資に創設しており、コロナ禍で疲弊した経済の回復や少子高齢社会に対応した事業のために使ってほしいとの思いから、子育て支援事業にも充当することを予定しており、小中学校のGIGAスクール推進のために使う予定です。</p> <p>市民病院の救急件数の受入についてですが、市民病院には120の病床が整備されており、40床は急性期病床、残り80床は回復期病床、地域包括ケア病床となっており、救急受入病床としては、急性期病床の40床が該当します。救急受入率の実績については、80%後半となっており、積極的に受入しています。また、西はりま消防組合においても、連携中枢都市圏事業の中で、播磨姫路救急搬送システムを構築し、救急隊員が病院の受入状況を瞬時に判断できるようにしており、市民病院との連携を始め、たらい回しが無いよう運営しています。</p>
委員	<p>資料P23「16扶助費・給付金等の見直し」について、きめ細かな住民福祉施策の推進とありますが、子どもの中には、様々な理由により不登校や引きこもりになっている場合があります。不登校の場合、学校のことになるので、学校や教育委員会の管轄になると思いますが、学校・教育委員会だけではフォローできないことがあり、子どもによっては、医療的な支援や福祉的な支援が必要なこともあり、その子の生活を充実させるためには、分野を跨いだ横断的な支援が必要と感じています。</p> <p>子どもたちは安心の中で、元気になっていくものと感じており、例えば、中学校までは先生とのつながりがありますが、中学校を卒業すると学校から切り離されて、長期的な引きこもりにつながってしまい、社会とのつながりがなく社会復帰する機会がなくなってしまうケースもあると聞いています。</p> <p>子どもへの支援は、たつの市の未来へ向けて必要な支援だと感じており、学校で生活するだけでなく、様々な生活スタイルや学びのスタイルが選択でき、全て</p>

	<p>の子どもたちが安心して大きく成長できるように、民間と連携した福祉サービスの充実に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>学校の中や地域には「ゆうあい」「やすらぎの部屋」といった適応指導教室がありますが、そもそも学校に行きにくい子どもたちが学校とつながっている場所に行けるかという点、なかなか行きづらい子もいると感じています。</p> <p>学校から離れた場所で行ける場所が、太子町にはありますが、たつの市にはなく、太子町のその場所では広域的に子どもを受入していますが、たつの市にもこのような子どもが集える場所が1つでもあれば良いと感じています。</p> <p>しんどいと感じている子どもたちが、長い時間をかけて元気になっていける居場所をたつの市にも作っていただければと思います。</p> <p>最近はデジタル化の推進など人件費の削減に向けた動きが強まる中、デジタルでは補えない部分や投資しなければならない部分は大切にしたいと思っています。たつの市の未来に向けて事業展開をお願いします。</p>
事務局	<p>御意見の内容については、太子町の事例も含め、たつの市の現状として、場所や人材など、何が不足しているのかを把握した上で、今後検討させていただきます。</p>